

区民・利用者アンケート結果の概要について

1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

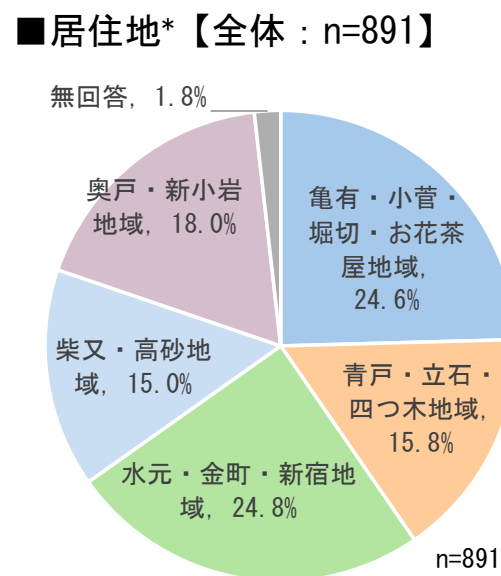
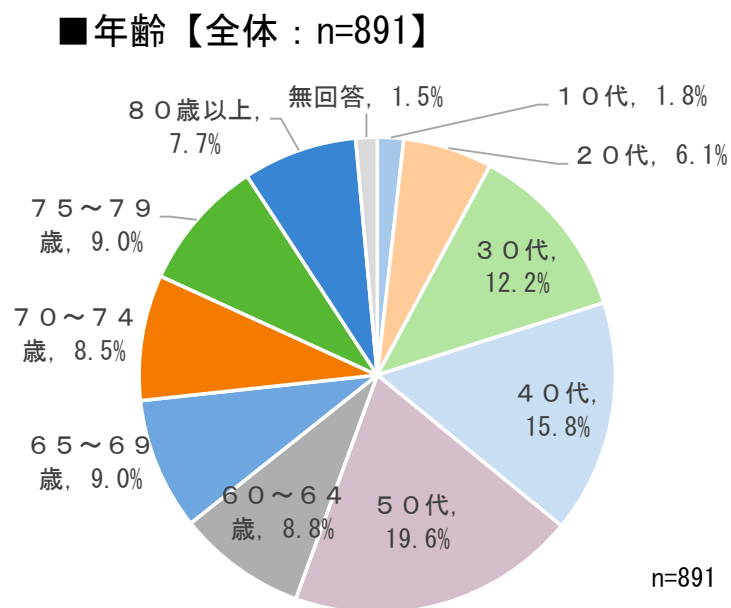
調査概要	
調査期間	令和6年12月19日（木）～令和7年1月6日（月）
対象者	無作為抽出した16～85歳の区民3,000人
配布方法	郵送
回答方法	郵送及びWEB回答
回答数	891票（うち、WEB回答229票） 回収率29.7%

1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

①回答者の属性

・年齢・居住地とも幅広い属性の区民の回答が得られている。



*葛飾区都市計画マスタープランの地域区分で分類

1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

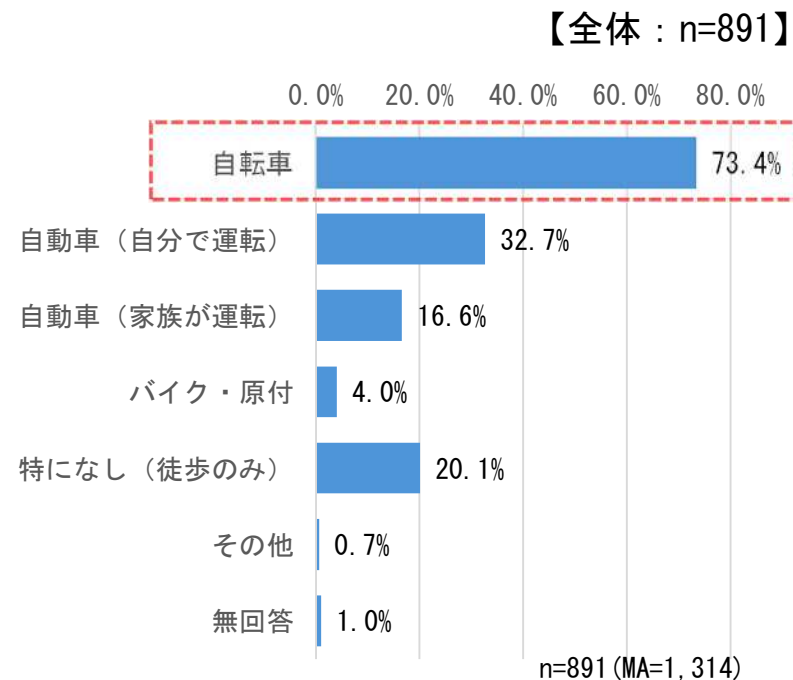
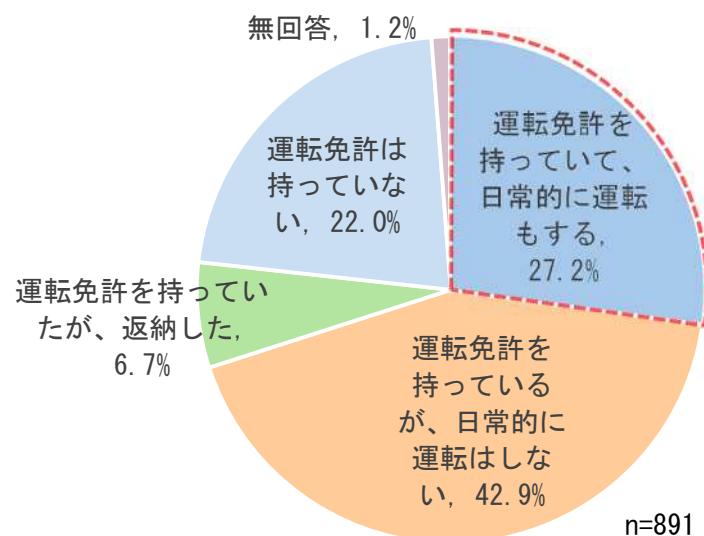
(1) 区民アンケート

①回答者の属性

- ・運転免許を持っている人は約7割だが、その中で日常的に運転するのは約3割。
- ・自由に使える乗り物は、自転車約7割。

⇒運転免許を持っている人でも、日常的に運転せずに生活できる環境が整っている。
⇒平坦な地形から、区民の自転車利用率は非常に高く、バスなどの公共交通は自転車では移動できない中～長距離の移動や雨天時等に多く利用されているとみられる。

■運転免許の有無と運転状況【全体：n=891】 ■自由に使える乗り物（複数回答）



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

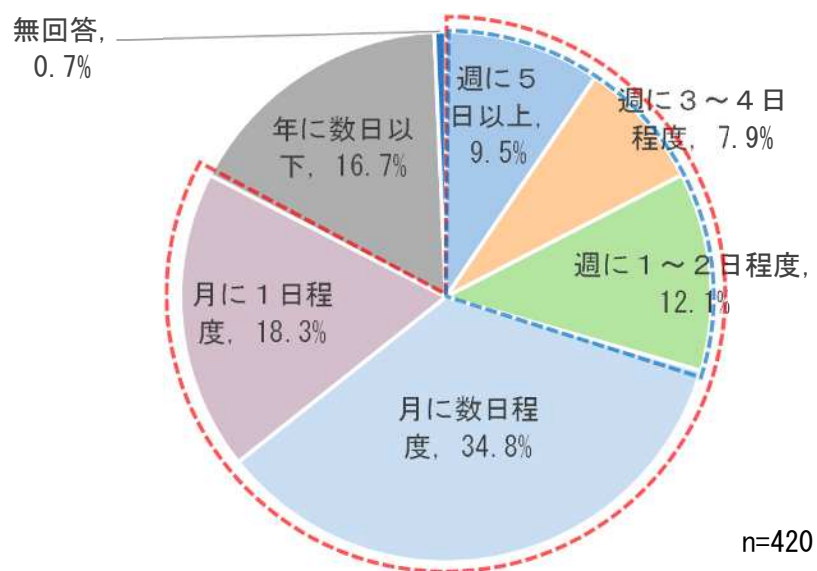
約5割が利用

②バスの利用状況【1か月以内にバスを利用したと回答した区民：420人 / 891人】

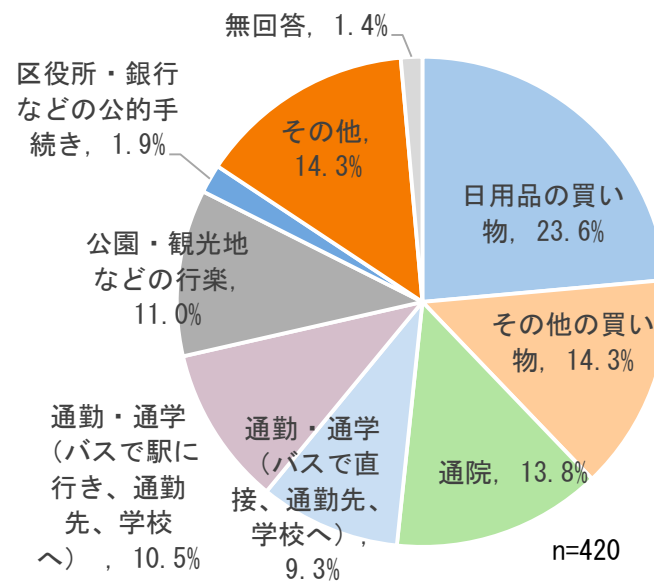
- ・バスを利用した人の利用頻度は、約8割が月1日以上、約3割が週1日以上と回答。
- ・バスを利用した人の利用目的に、大きな偏りはない。

⇒バスは、生活に欠かせない公共交通として多くの区民に幅広く利用されている。

■利用頻度【利用者：n=420】



■利用目的【利用者：n=420】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

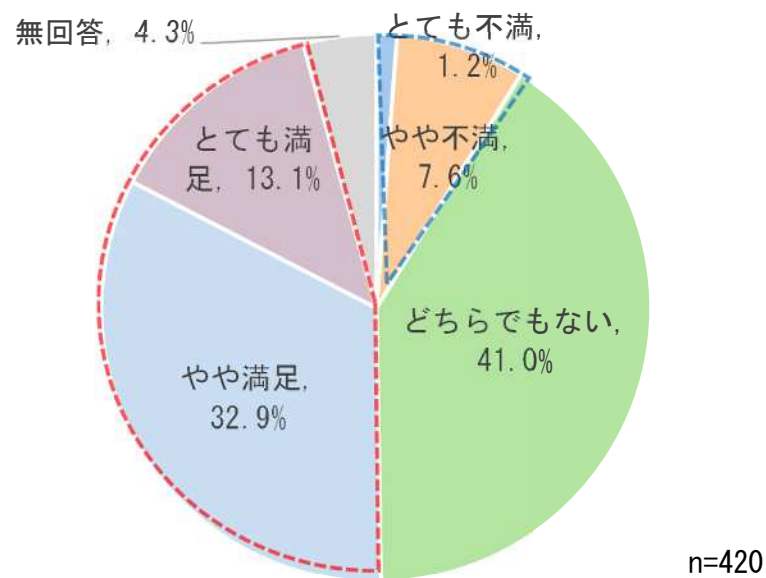
(1) 区民アンケート

②バスの利用状況

・バスの総合的な満足度は、「とても満足」＋「やや満足」が約5割、「とても不満」＋「やや不満」が約1割。

⇒「満足」が「不満」を大きく上回る。

■バスの総合的な満足度【利用者：n=420】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

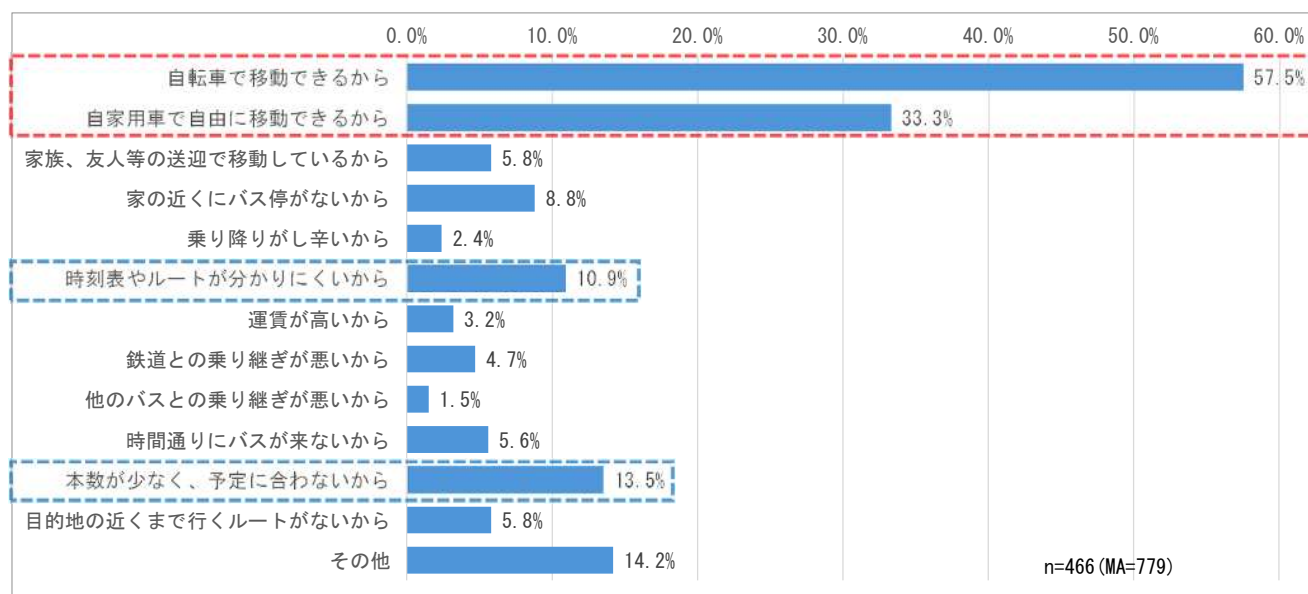
②バスの利用状況

- ・バスを利用しなかった人の利用しない理由は、「自転車で移動できるから」が約6割、「自家用車で自由に移動できるから」が約3割。
- ・その他の理由では「時刻表やルートが分かりにくいから」と「本数が少なく、予定に合わないから」が約1割。

⇒自転車や自家用車は、バスと競合関係にある。

⇒時刻表やルートの分かりにくさ、運行本数の少なさといった、サービスレベルの課題があると考えられる。

■バスを利用しない理由（複数回答）【利用しない人：n=466】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

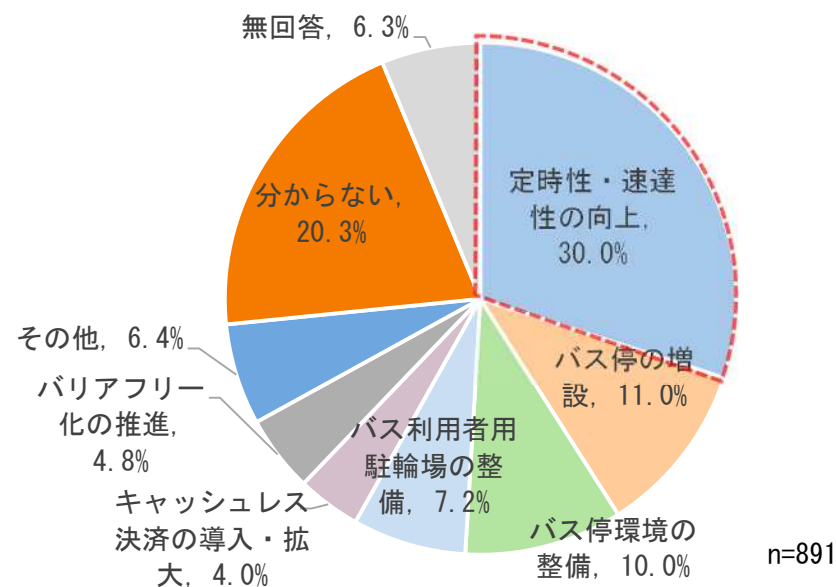
(1) 区民アンケート

②バスの利用状況

・ 利便性・快適性向上策では「定時性・速達性の向上」が約3割。

⇒道路渋滞や踏切による遮断等により、一部路線や区間において定時性・速達性向上の要望が高いと考えられる。

■バスの利便性・快適性向上策【全体：n=891】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

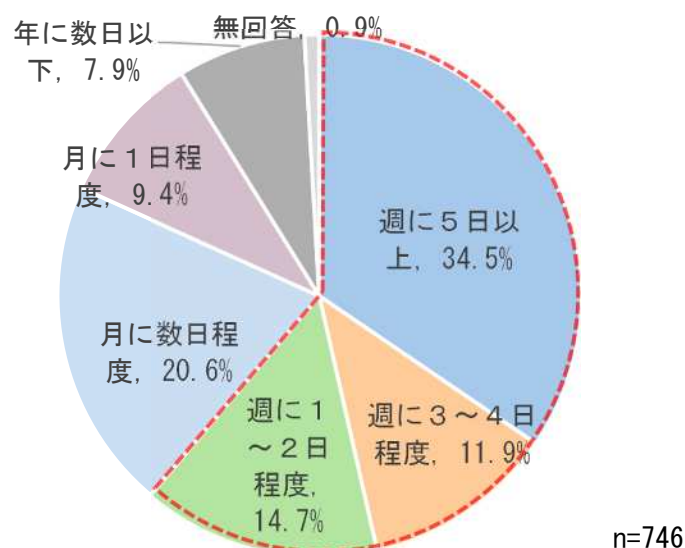
約8割が利用

③鉄道の利用状況【1ヶ月以内に鉄道を利用したと回答した区民：746人 / 891人】

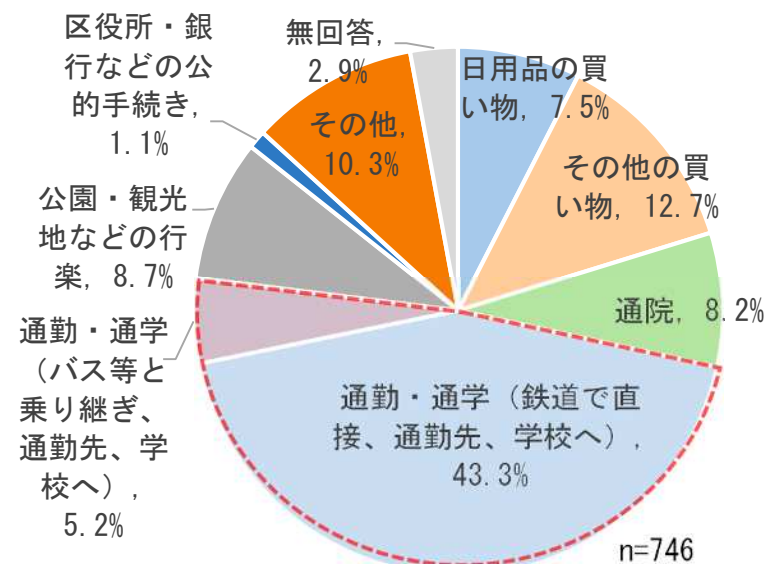
- ・ 鉄道を利用した人の利用頻度は、約6割が週1日以上と回答。
- ・ 利用目的は通勤・通学が約5割。

⇒通勤・通学を中心に、多くの区民に高頻度で利用されている。

■利用頻度【利用者：n=746】



■利用目的【利用者：n=746】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

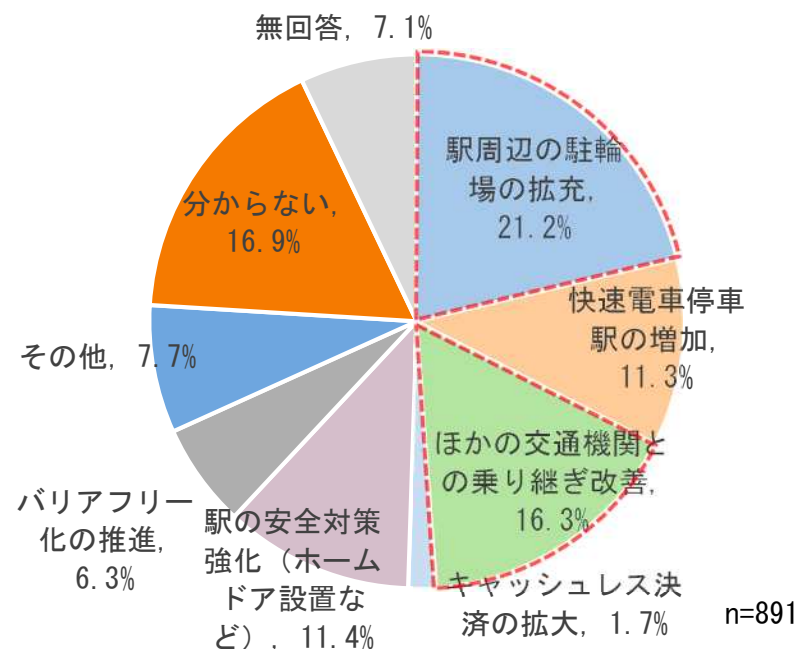
(1) 区民アンケート

③鉄道の利用状況

・ 利便性・快適性向上策では「駅周辺の駐輪場の拡充」「ほかの交通機関との乗り継ぎ改善」が約2割。

⇒鉄道そのものよりも、他の移動手段との連携強化の要望が多い。

■鉄道の利便性・快適性向上策【全体：n=891】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

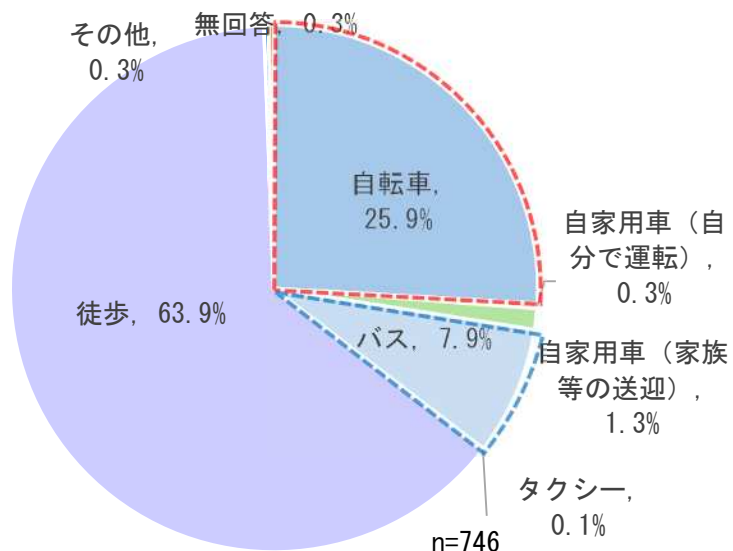
(1) 区民アンケート

③鉄道の利用状況

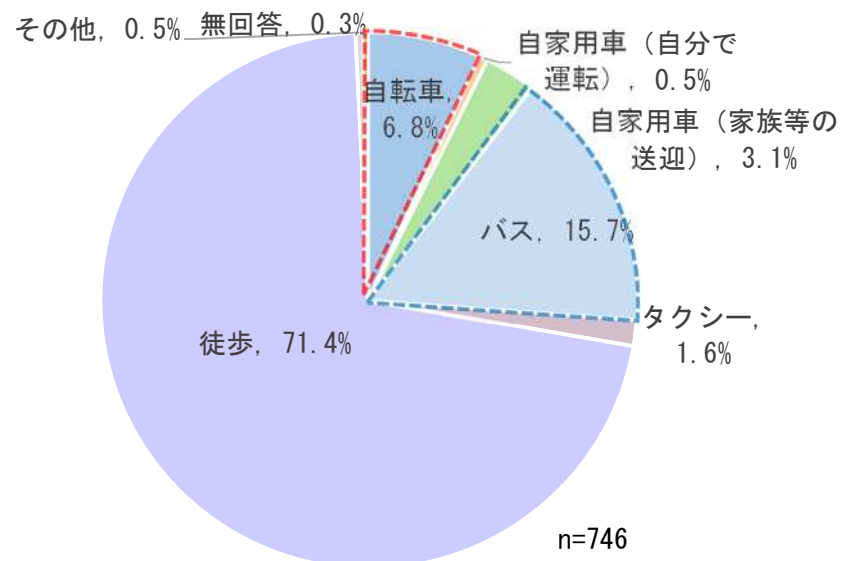
・最寄り駅までの移動手段は、徒歩を除くと、晴天時は自転車約3割が多いが、雨天時はバスが約2割が多い。

⇒晴天時の自転車利用者の多くが、雨天時にはバス・徒歩での移動に転換していると考えられる。

■最寄り駅までの移動手段 (晴天時) 【利用者：n=746】



(雨天時) 【利用者：n=746】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

④ タクシーの利用状況

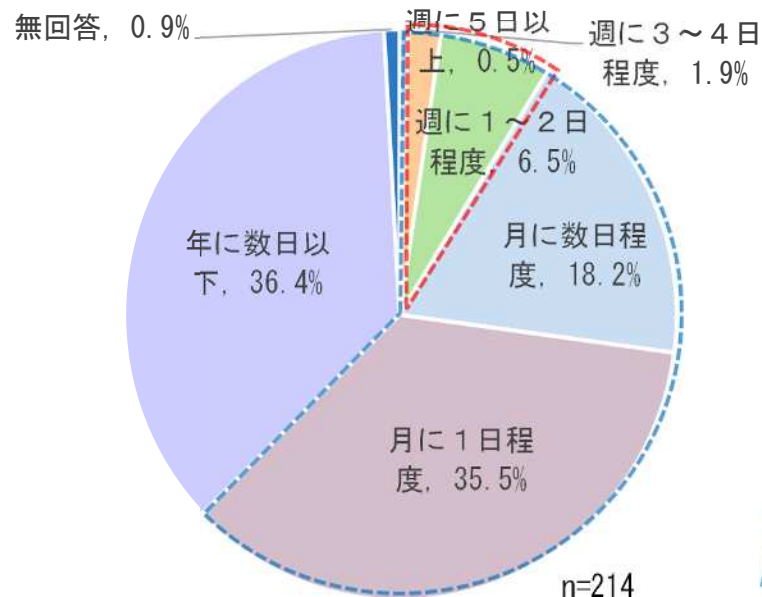
約2割が利用

【1ヶ月以内にタクシーを利用したと回答した区民：214人 / 891人】

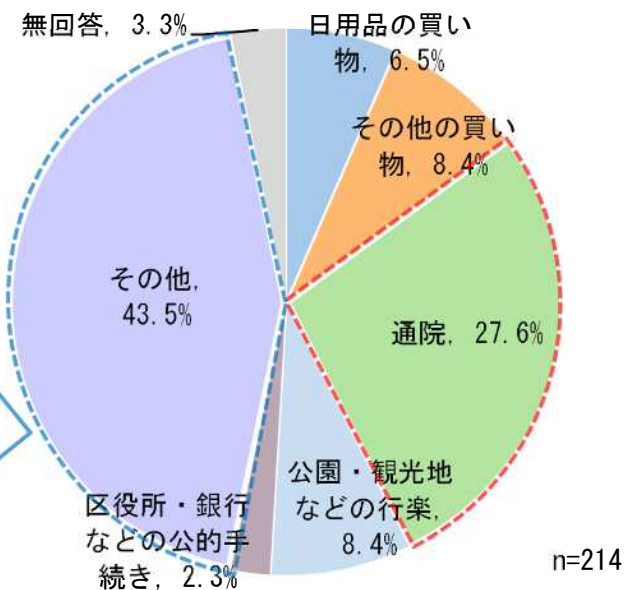
- ・ 利用頻度は、週1日以上は約1割で、月1日以上が約6割。
- ・ 利用目的は、通院が約3割、その他の意見として深夜の帰宅が多い。

⇒ タクシーは、鉄道やバスとは利用する目的の傾向が異なる。

■ 利用頻度【利用者：n=214】



■ 利用目的【利用者：n=214】



○ 主な「その他」の具体意見

深夜の帰宅（20件）、勤務先への移動（12件）、飲食店への移動（12件）

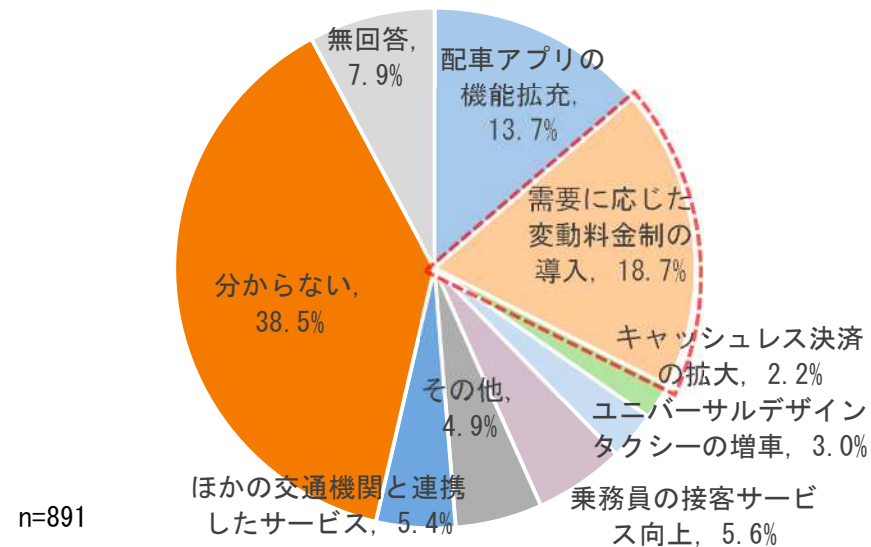
1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

④ タクシーの利用状況

・ 利便性・快適性向上策として「変動料金制の導入」が約2割。

■ タクシーの利便性・快適性向上策【全体：n=891】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

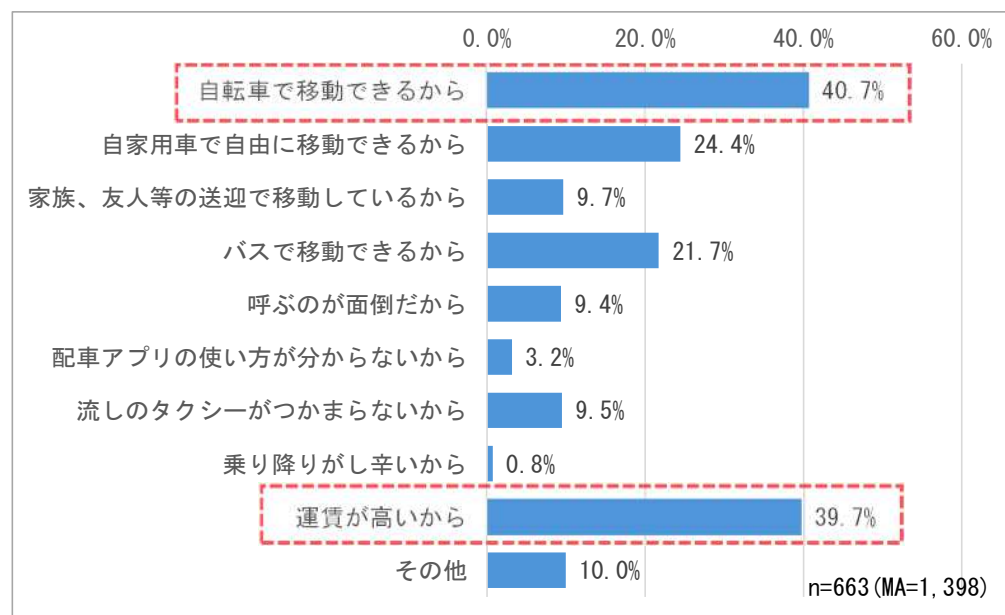
(1) 区民アンケート

④ タクシーの利用状況

・ タクシーを利用しなかった人の利用しない理由は、「自転車で移動できるから」「運賃が高いから」が約4割。

⇒ 運賃に関する回答が多く、利用拡大における課題となっていると考えられる。

■ タクシーを利用しない理由（複数回答）【利用しない人：n=663】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

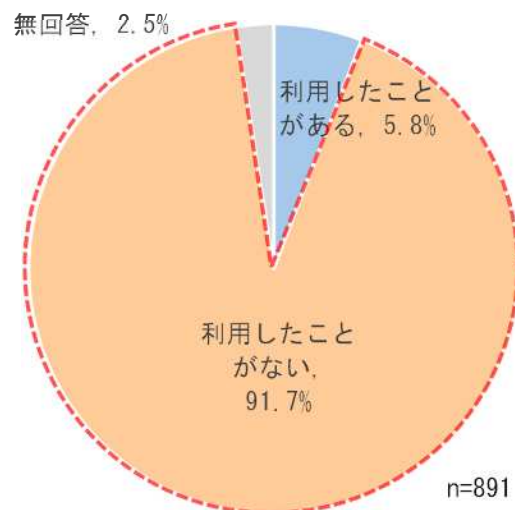
(1) 区民アンケート

⑤シェアサイクルの利用状況

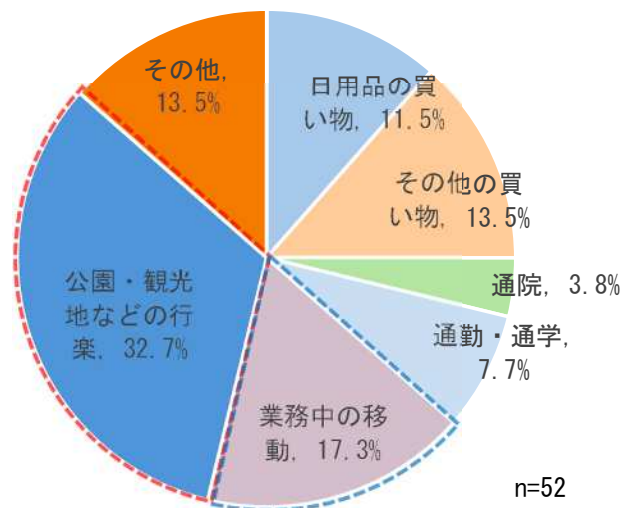
- ・ 回答者の約9割が「利用したことがない」と回答。
- ・ 利用目的は、公園・観光地などの行楽が約3割、業務中の移動が約2割。

⇒自由に使える乗り物として約7割の区民が自己所有の自転車と回答していることから、区民のシェアサイクルの利用は限定的。
⇒公園や観光地など行楽目的での利用や、業務中の移動で利用した人が多く、観光や在勤者の利用とも親和性が高いと考えられる。

■利用有無【全体：n=891】



■利用目的【利用者：n=52】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

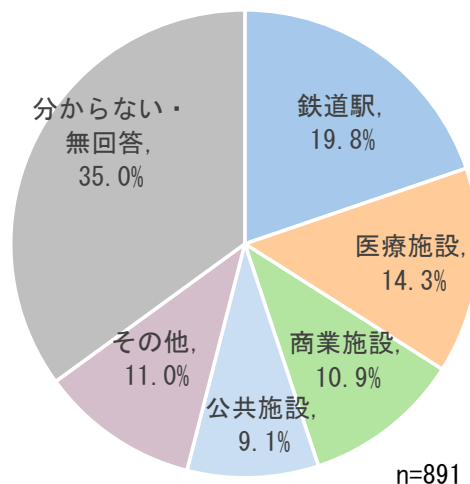
(1) 区民アンケート

⑥区の公共交通施策について

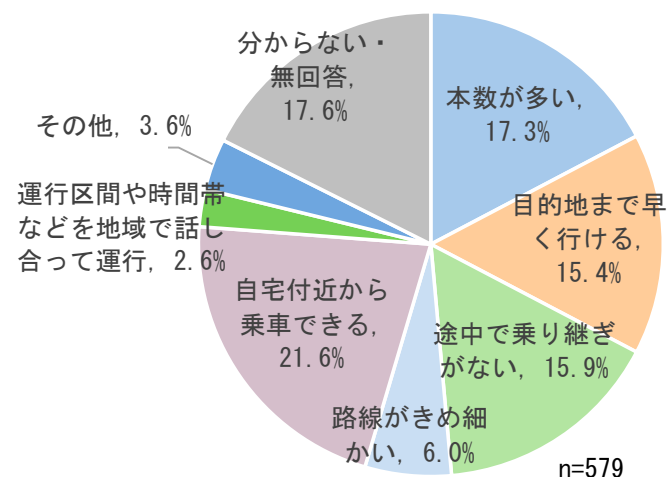
- ・公共交通のアクセス強化が必要な場所として、「鉄道駅」が約2割、「医療施設」「商業施設」「公共施設」が約1割。
- ・アクセス強化が必要な場所への公共交通を利用しやすくする要素は、「自宅付近から乗車できる」「本数が多い」「途中で乗り継ぎがない」「目的地まで早く行ける」が多い。

⇒様々な意見が偏りなく回答されている。

■公共交通アクセス強化が必要な場所
【全体：n=891】



■アクセス強化の要素
【強化の場所を回答：n=579】



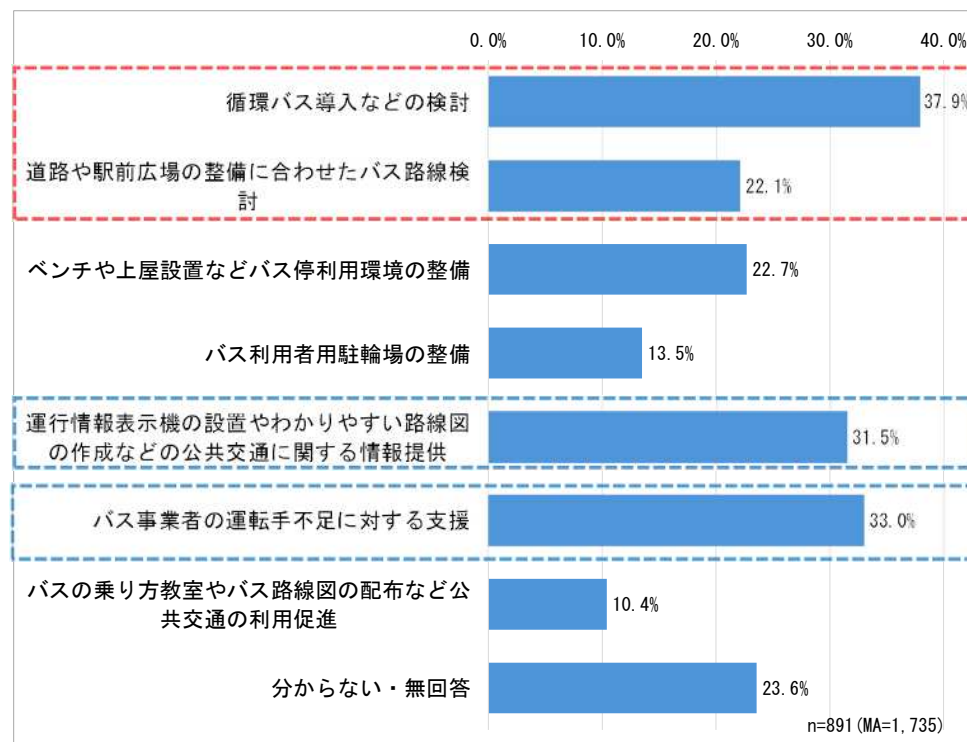
1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

⑥区の公共交通施策について

- ・区で行っている公共交通関連施策のうち、これまで以上に推進すべき取組として、「循環バス導入などの検討」が約4割、「運行情報表示器や路線図など公共交通の情報提供」「バス事業者の運転手不足に対する支援」が約3割。

■区の施策でこれまで以上に推進すべき取組（複数回答）【全体：n=891】



量的な拡大

1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

⑥区の公共交通施策について

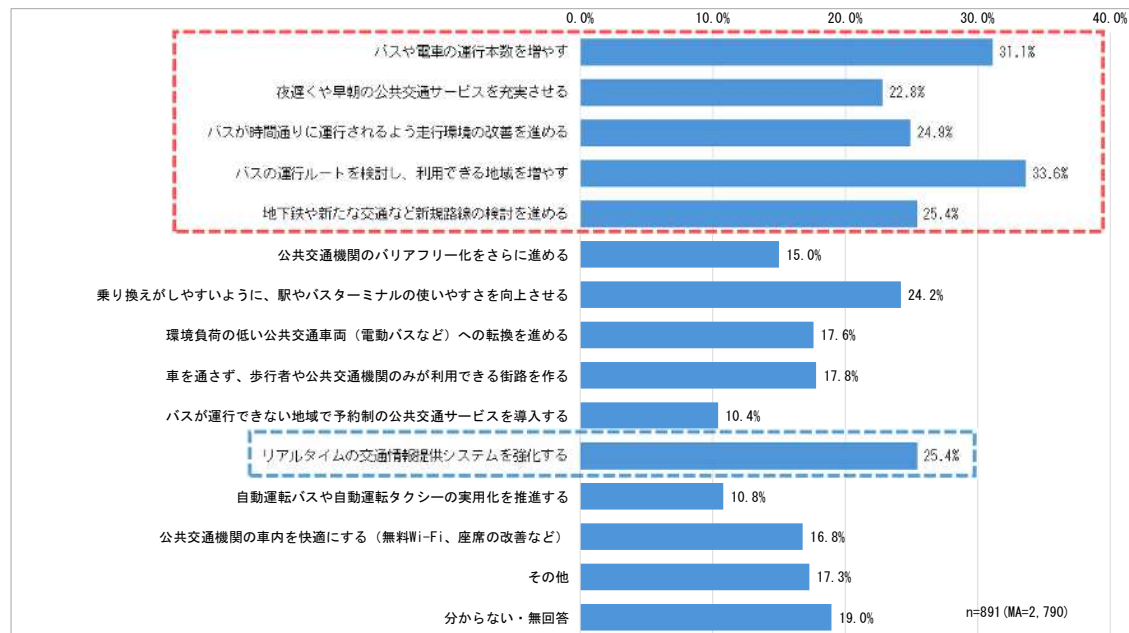
・今後の公共交通施策の方向性として、「バスや電車の運行本数を増やす」「バスの運行ルートを検討し、利用できる地域を増やす」等の意見が多い。

⇒新規路線や運行本数の増など量的な拡大を望む要望が多い。

⇒バス事業者の運転手不足の支援に対する要望が多い。

⇒運行体制やダイヤに係るもの以外では、運行情報表示器の設置や路線図の作成などの情報提供の拡充が求められており、リアルタイムの情報提供強化を求める要望が多い。

■今後の公共交通施策の方向性（複数回答）【全体：n=891】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

■結果のまとめ

調査項目	調査結果
回答者の属性	・ <u>運転免許を持っていると回答した区民は約7割</u>であるが、<u>日常的に自動車を運転すると回答した区民は約3割</u>で、運転免許を持っている人でも、日常的に運転せず生活できる環境が整っている。 ・ <u>自由に使える乗り物で自転車と回答した区民は約7割</u>で、平坦な地形から、<u>区民の自転車利用率は非常に高く</u>、公共交通は自転車では移動できない中～長距離の移動や雨天時等に多く利用されているとみられる。
バスの利用状況	・ <u>1ヶ月以内にバスを利用したと回答した区民は約5割</u>で、利用頻度は約8割が月1日以上、約3割が週1日以上と回答しており、バスは、<u>生活に欠かせない公共交通</u>として多くの区民に幅広く利用されている。 ・ <u>バスの総合的な満足度は、「とても満足」＋「やや満足」が約5割</u>、「とても不満」＋「やや不満」が約1割で、「満足」が「不満」を大きく上回る。 ・ 利用しない理由では、自転車や自家用車で移動できるからのほか、<u>時刻表やルートの分かりにくさ、運行本数の少なさ</u>の回答が多く、サービスレベルの課題があると考えられる。 ・ <u>利便性・快適性向上策では、「定時性・速達性の向上」と回答した区民が約3割</u>で、道路渋滞や踏切による遮断等により、一部路線や区間において<u>定時性、速達性向上の要望</u>が高いと考えられる。

1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(1) 区民アンケート

■結果のまとめ

調査項目	調査結果
鉄道の利用状況	・ 1ヶ月以内に<u>鉄道を利用</u>したと回答した区民は<u>約8割</u>で、通勤・通学を中心に多くの区民に高頻度で利用されている。 ・ <u>利便性・快適性向上策</u>では、駅周辺の駐輪場の拡充や他の交通機関との乗り継ぎ改善など、鉄道そのものよりも、<u>他の移動手段との連携強化の要望</u>が多い。 ・ <u>最寄り駅への移動手段</u>では、晴天時の自転車利用者の多くが、<u>雨天時にはバス・徒歩での移動に転換</u>していると考えられる。
タクシーの利用状況	・ 1ヶ月以内に<u>タクシーを利用</u>したと回答した区民は<u>約2割</u>で、利用者の約6割が月1日以上利用しており、鉄道やバスとは利用目的の傾向が異なる。 ・ <u>利用しない理由</u>として、<u>運賃に関する回答</u>が多く、利用拡大における課題となっていると考えられる。
シェアサイクルの利用状況	・ 自由に使える乗り物として、約7割の区民が自己所有の自転車と回答していることから、区民のシェアサイクル利用は限定的。 ・ 利用者は、<u>公園や観光地など行楽目的での利用や、業務中の移動で利用</u>した人が多く、観光や在勤者の利用とも親和性が高いと考えられる。
区の公共交通施策について	・ 公共交通のアクセス強化が必要な場所や、アクセス強化の要素としては、様々な意見が偏りなく回答されている。 ・ <u>新規路線や運行本数増など量的な拡大を望む要望</u>が多い。 ・ <u>バス事業者の運転手不足の支援に対する要望</u>が多い。 ・ 運行情報表示器設置や路線図作成などの情報提供拡充が求められており、<u>リアルタイムの情報提供強化を求める要望</u>が多い。

1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(2) 路線バス利用者アンケート

調査概要	
調査期間	令和6年12月24日（火）～令和7年1月17日（金）
対象者	区内の駅前のバス停における路線バス利用者3,000人 （乗車・降車）
配布方法	調査員による調査票配布（平日7～19時）
回答方法	郵送及びWEB回答
回答数	682票（うち、WEB回答60票） 回収率22.7%

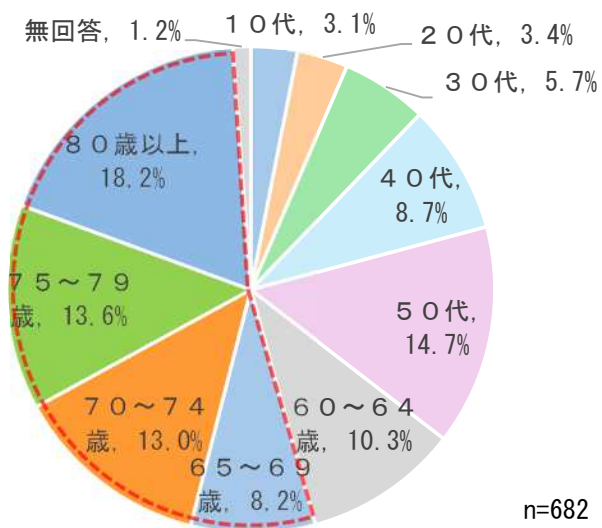
1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(2) 路線バス利用者アンケート

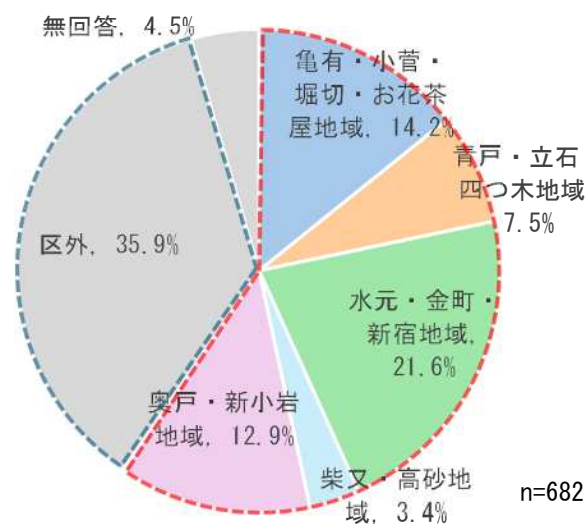
①回答者の属性

- ・回答者の年齢は65歳以上が約5割と多く、居住地は区内在住者が約6割、区外在住者が約4割となっている。

■年齢【全体：n=682】



■居住地【全体：n=682】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

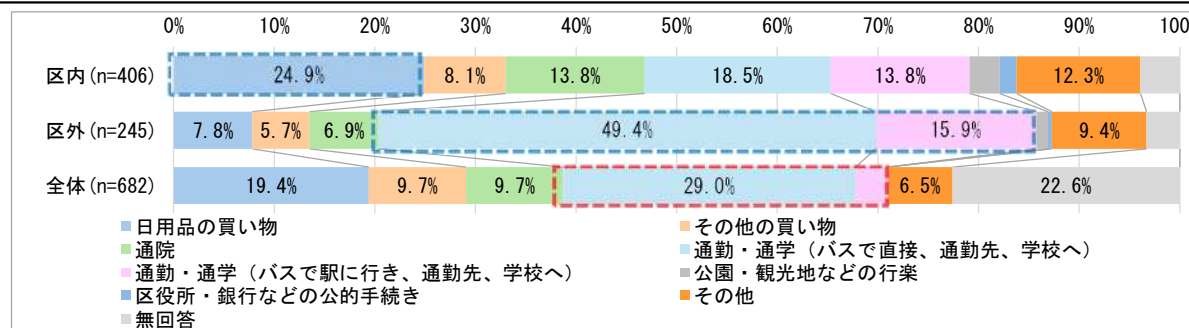
(2) 路線バス利用者アンケート

② 普段のバスの利用目的【全体：n=682】

※居住地無回答が31人いるため、「区内」＋「区外」は全体人数と一致しない。

- ・ 全体のバスの利用目的は「通勤・通学」が約3割、「日用品の買い物」が約2割。
- ・ 区内では「日用品の買い物」での利用が多く、区外では「通勤・通学」での利用が多い。

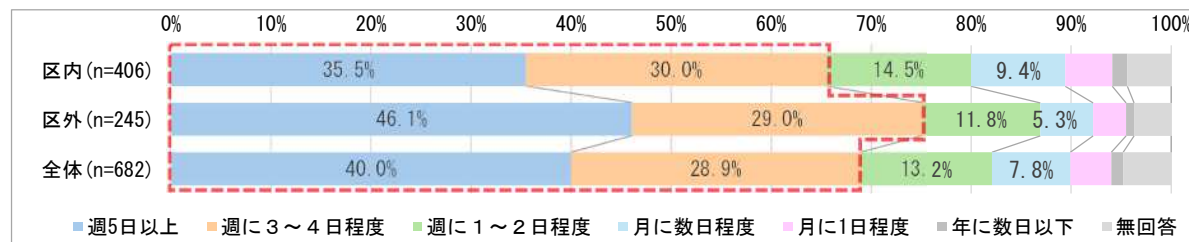
⇒区外在住者は鉄道で駅まで来て、バスで職場や学校へ向かう人が多い。



③ バスの利用頻度【全体：n=682】※居住地無回答が31人いるため、「区内」＋「区外」は全体人数と一致しない。

- ・ バスの利用頻度は、週3日以上が約7割。

⇒区内外問わず、利用者の利用頻度は高く、日常的な移動手段として路線バスが欠かせない存在となっている。



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

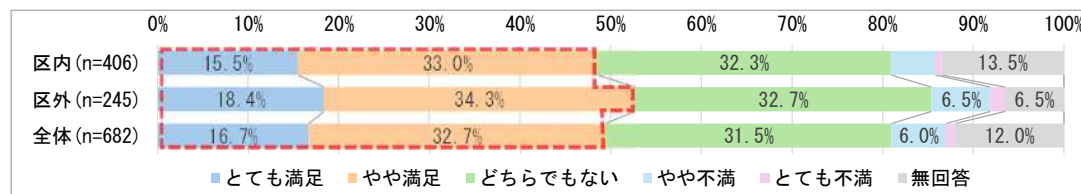
(2) 路線バス利用者アンケート

④バスの総合的な満足度【全体：n=682】

※居住地無回答が31人いるため、「区内」＋「区外」は全体人数と一致しない。

・バスの総合的な満足度は、「とても満足」＋「やや満足」が約5割。

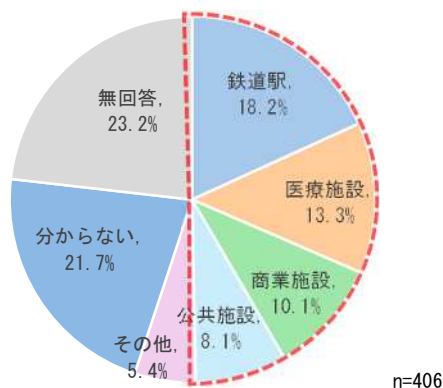
⇒「とても満足」＋「やや満足」と回答した利用者は約5割で、一定の満足度があり、区民アンケート結果との整合がみられる。



⑤公共交通アクセス強化が必要な場所【区民のみ：n=406】

・公共交通アクセス強化が必要な場所として、「鉄道駅」が約2割、「医療施設」「商業施設」「公共施設」が約1割。

⇒区民アンケート結果同様、様々な意見が偏りなく回答されている。



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(2) 路線バス利用者アンケート

■結果のまとめ

調査項目	調査結果
回答者の属性	・ 回答者の年齢は <u>65歳以上が約5割</u> と多く、居住地は <u>区内在住者が約6割、区外在住者が約4割</u> となっている。
普段の利用目的	・ <u>全体のバスの利用目的は「通勤・通学」が約3割、「日用品の買い物」が約2割</u> で、区内在住者は「日用品の買い物」での利用が多く、区外在住者は「通勤・通学」での利用が多い。 ・ 区外在住者は鉄道で駅まで来て、バスで職場や学校へ向かう人が多い。
利用頻度	・ <u>バスの利用頻度は、週3日以上が約7割</u> で、区内外問わず、利用者の利用頻度は高く、 <u>日常的な移動手段として路線バスが欠かせない存在</u> となっている。
満足度	・ <u>バスの総合的な満足度は、「とても満足」＋「やや満足」が約5割</u> で、一定の満足度があり、区民アンケート結果との整合がみられる。
区の公共交通施策について	・ 公共交通のアクセス強化を求める場所として、区民アンケートと同様、様々な意見が回答されている。

1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(3) タクシー利用者アンケート

調査概要	
調査期間	令和7年1月16日（木）～令和7年1月30日（木）
対象者	区内の駅前（新小岩・亀有・金町駅）のタクシー乗り場におけるタクシーの利用者500人（乗車のみ）
配布方法	調査員による調査票配布（平日9～16時）
回答方法	郵送及びWEB回答
回答数	76票（うち、WEB回答1票） 回収率15.2%

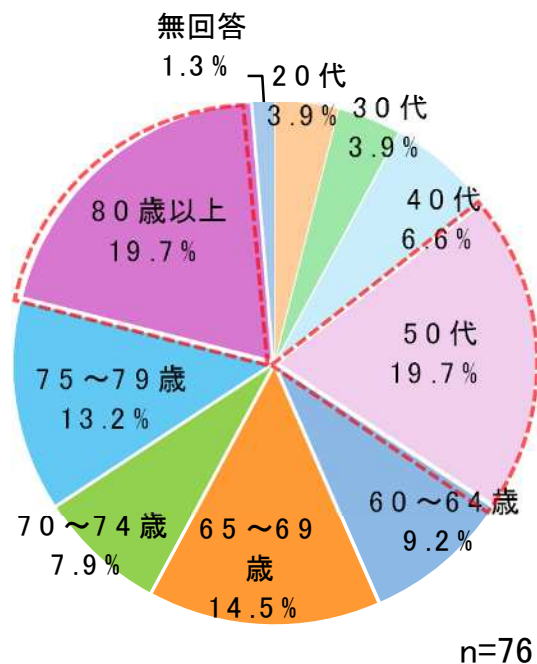
1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(3) タクシー利用者アンケート

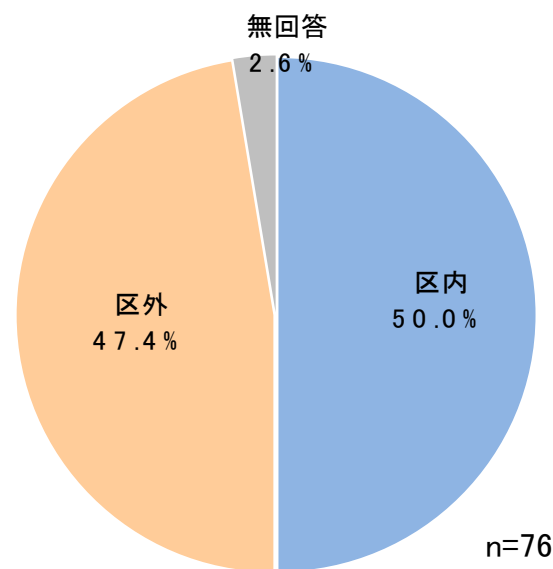
①回答者の属性

- ・ 回答者の年齢は、50代と、80歳以上がそれぞれ約2割。
- ・ 居住地では、区内在住者と区外在住者が約5割で均衡。

■ 年齢【全体：n=76】



■ 居住地【全体：n=76】



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

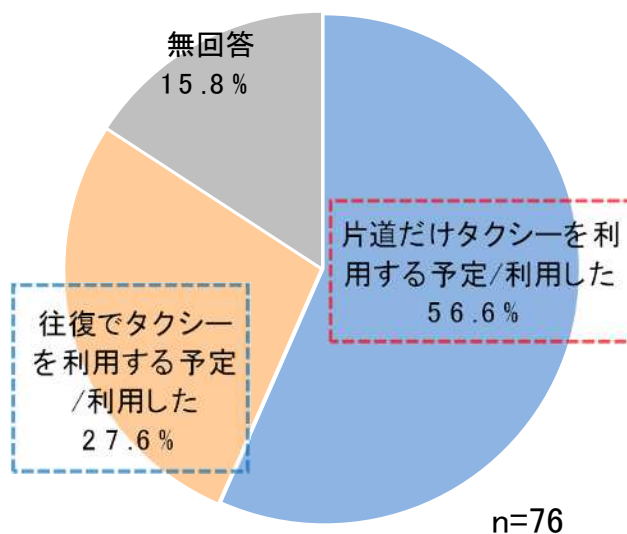
(3) タクシー利用者アンケート

①回答者の属性

・ 往復利用の有無では、「片道だけ利用する予定（利用した）」が約6割。

⇒片道のみの利用者が約6割で、タクシーと路線バスなど別の移動手段を往復で組み合わせて移動していると考えられる。

■ 往復利用の有無【全体：n=76】



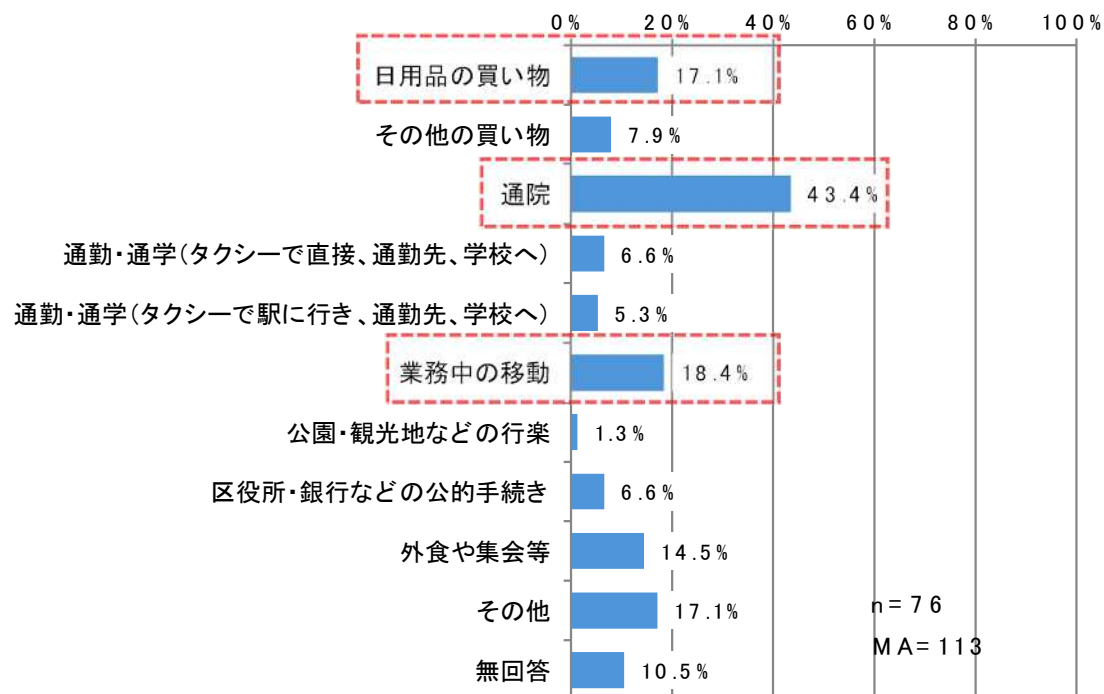
1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(3) タクシー利用者アンケート

② 普段の利用目的（複数回答）【全体：n=76】

・ 普段の利用目的は「通院」が約4割、日用品の買い物、業務中の移動が約2割。

⇒利用者の年齢層と目的の整合が見受けられる。



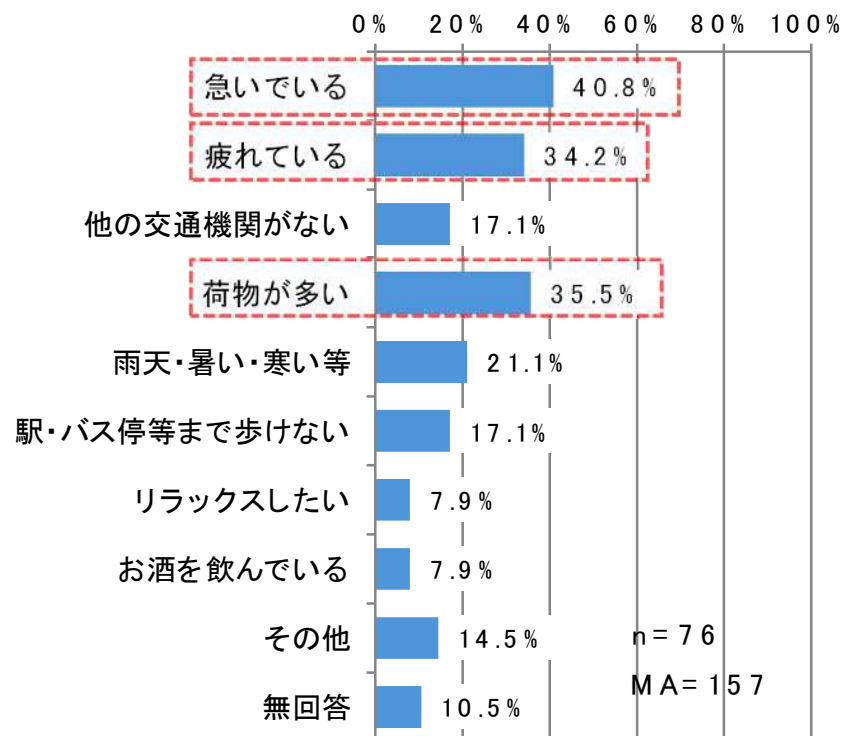
1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(3) タクシー利用者アンケート

③タクシーを利用する理由（複数回答）【全体：n=76】

・タクシーを利用する理由は、「急いでいる」「荷物が多い」が約4割、「疲れている」が約3割。

⇒鉄道やバスでは十分に充足されない理由でタクシーを利用する人が多い。



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

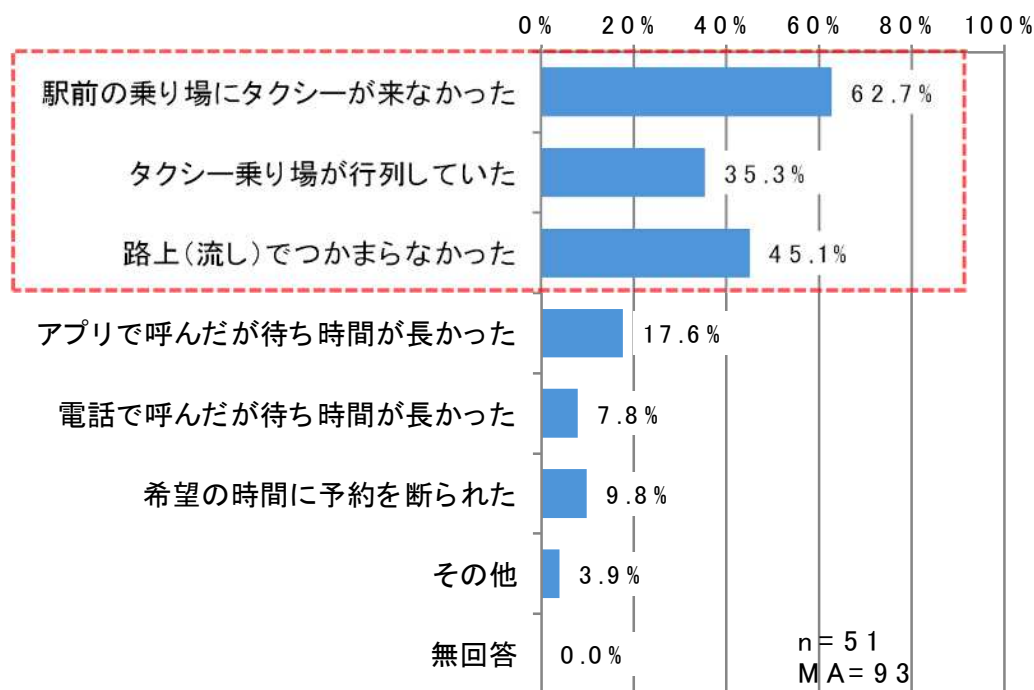
(3) タクシー利用者アンケート

④利用したいときにタクシーに乗れなかった理由（複数回答）

【乗れなかった経験がある人:n=51】

・タクシーに乗れなかった理由は「駅前の乗り場にタクシーが来なかった」が約6割、「路上（流し）でつかまらなかった」が約5割、「タクシー乗り場が行列していた」が約4割。

⇒配車アプリの普及により、従来どおり駅前乗り場や流しのタクシーを利用したい利用者にとってはタクシーがつかまらないと感じる機会が増えているとみられる。



1. 区民・利用者アンケート結果の概要について

(3) タクシー利用者アンケート

■結果のまとめ

調査項目	調査結果
回答者の属性	・ 回答者の年齢は、<u>50代と80歳以上がそれぞれ約2割</u>で、居住地は<u>区内在住者と区外在住者が約5割で均衡</u>している。 ・ <u>片道のみ利用者が約6割</u>で、タクシーとバスなど別の移動手段を往復で組み合わせて移動していると考えられる。
普段の利用目的	・ <u>通院での利用が約4割と多く、業務中の移動や日用品の買い物で利用も約2割程度</u>みられ、利用者の年齢層と目的の整合が見受けられる。
利用理由	・ <u>「急いでいる」、「荷物が多い」が約4割、「疲れている」が約3割と多く、</u>鉄道やバスでは十分に充足されない理由でタクシーを利用する人が多い。
利用できなかった場面	・ 配車アプリの普及により、<u>従来どおり駅前乗り場や流しのタクシーを利用したい利用者にとってはタクシーがつかまらない</u>と感じる機会が増えているとみられる。